

令和5年度 第1回地方創生推進会議 要録

日 時：令和5年5月31日（水） 19：00～20：09

場 所：郡上市役所本庁舎 4階大会議室

出席者：（委員）井俣 潤、曾我 厚夫、出崎 善久、熊崎 弘一、山口 好市、名畑 周、
稲葉 光紀、恩田 邦生
（事務局）三輪部長、三島課長、木嶋課長補佐、荒川係長
（建設部）粥川課長、和田係長

欠席者：兼山 吉枝、山下 哲男、青木副市長

傍聴者：1名

1. 開会

2. 委員委嘱

事務局①：2名の委員に交代があり、新たな委員には、前任の残任任期で委嘱となる。

3. あいさつ

会長：あいさつ

部長：あいさつ

4. 協議事項

（進行を井俣会長に交代）

会長：本会議の開催に対し、傍聴希望者があったため入室を認める。
事務局より傍聴における遵守事項の説明をお願いします。

事務局①：（遵守事項の説明）

会長：傍聴者においては、只今説明のあった事項を遵守していただきたい。
それでは「第2期郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂に伴う策定方針について」事務局より説明を求める。

（説明）

事務局②：（資料をもとに説明）

（意見等）

会長：現在の総合戦略にDXの要素を絡めた改訂を、これから行っていくための策定方針との考えでよかったか。

事務局②：そのとおりである。

会長：ご意見やご質問はないか。

委員①：委員②にお聞きしたい。

総合戦略へのDX要素を含めたブラッシュアップとのことだが、具体的にどのようなイメージがあるのか。

委員②：目的に合ったITを活用した動き出しになると考えられる。現在の総合戦略に

どのように絡めていくのかは難しいところかと思う。しかしながら、簡単に言えば、市民がより便利に過ごしやすくなるためのデジタル整備である。計画の際には、郡上ケーブルテレビが持つインターネットを活用した計画もお願いしたい。

委員①：福祉分野においてはどのような状況か。

委員③：観光立市郡上としては、住みやすいまち・魅力あるまち郡上として、様々な取り組みを行っているが、福祉分野の現状ではデジタル化が遅れている。高齢者中心の分野としては、皆が使いやすくより良い社会となるような改訂を希望したい。

委員④：「分野を横断するリーディングプロジェクトを地域ビジョンとして明記」とあるが、地域ビジョンとはどのようなものをイメージしているのか。

事務局①：国から総合戦略の改訂にあたり、求められていることが2点ある。1つは「DX要素を取り入れること」、もう一つは「地域ビジョンを盛り込むこと」となっている。これは、DXを取り入れ、5年後10年後の郡上市の将来像を総合戦略内に表すということである。郡上市では、観光立市郡上/脱炭素社会郡上を掲げており、この循環型社会の形成に取組みつつ、郡上らしい地域ビジョンを作成するため、分野を横断したプロジェクトを考えていきたい。

委員③：福祉分野でも課題は持っているため、一緒になって考えていけるとよい。

会長：様々なご意見、感謝する。この他に意見はないか。

会議：（意見なし）

会長：意見が無いようなので「第2期郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂に伴う策定方針について」の協議を終了する。

続いて、「地域再生計画（地方創生整備推進交付金）の中間評価について」所管課からの説明を求める。

（説明）

建設部：（地域再生計画について説明）
（中間評価について説明）

（意見等）

会長：ご意見やご質問はないか。

会議：（意見なし）

会長：意見が無いようなので「地域再生計画（地方創生整備推進交付金）の中間評価について」の協議を終了する。

5. その他

事務局②：（次回の会議開催時期について説明）

6. 閉会 会長

（終了 20時09分）